

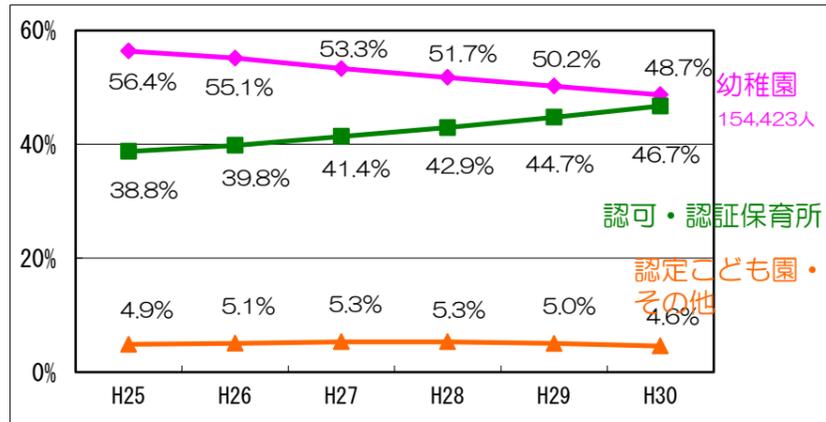
■ 私立幼稚園の現状

■ 建学の精神に基づく個性豊かな教育活動を積極的に展開 ■

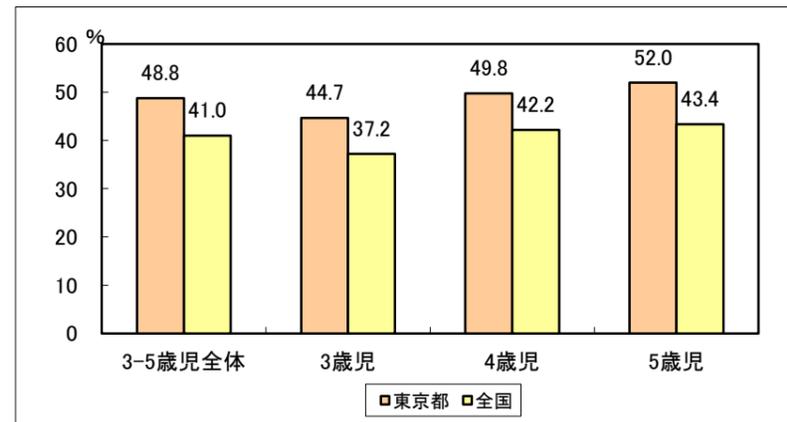
<東京の特徴>

- ◆ 就学前児童（3～5歳）の約5割が幼稚園に就園し、うち約9割の園児が私立幼稚園に在園
- ◆ 就学前児童（3～5歳）のうち、幼稚園就園率は減少傾向にあるが、全国平均と比べると高い
- ◆ 子ども・子育て支援新制度に約2割の幼稚園が移行

就学前児童（3～5歳）の就園率の推移



年齢別幼稚園就園率 (30年度)



■ 私立幼稚園の子育て支援への取組み

<預かり保育>

- ◆ 在園児を対象に、標準的な教育時間（4時間）の前後や長期休業期間中に幼稚園において教育活動を行うもの
- ◆ 地域の実態や保護者の希望に応じて、各園の判断で実施

モデルケース（11時間開園の場合）

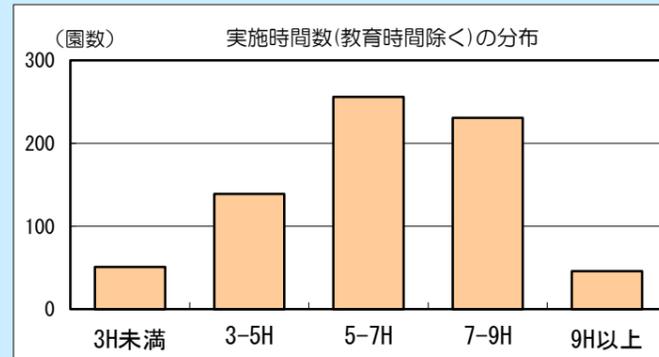


<地域への支援>

- ◆ 未就園児の保育（プレスクール）
- ◆ 園庭・園舎の開放
- ◆ 幼稚園教職員やカウンセラー等による子育て相談

預かり保育実施状況 (30年度)

	通常期	長期休業中
実施園数	723 (92.2%)	552 (70.4%)



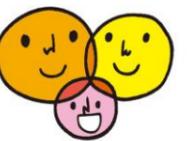
■ 都の私立幼稚園等に対する支援

【主な支援の取組み】

- ◆ 幼稚園の運営や施設整備等に対する支援
(令和元年度予算額 29,447百万円)
 - ・教育条件・教育環境の維持・向上
 - ・経営の健全性確保・保育料の抑制
 - ・特別支援教育への取組み
 - ・特色ある取組を促進 → 預かり保育・地域教育事業
 - ・新制度移行園への対応 → 施設型給付費の一部負担
 - ・遊具等環境整備
 - ・認定こども園化のための開設準備
- ◆ 保護者の負担に対する支援
(令和元年度予算額 9,307百万円)
 - ・保護者の所得状況等に応じた園児保護者負担軽減
 - ・新制度未移行園の幼児教育保育無償化対応

【近年の新たな取組み】

- ◆ TOKYO子育て応援幼稚園（H29年度～）
【要件】
 - ・教育時間前後に4時間以上(教育時間を含めて9時間以上)
 - ・平日5日間、年間200日以上
の預かり保育を実施
- 【補助内容】
 - ・園児数に応じた補助
 - ・小規模保育施設等と連携して卒園児を受け入れる場合の補助



TOKYO子育て応援幼稚園

< TOKYO子育て応援幼稚園数 91園(9区15市) >

- ◆ 幼児教育無償化を踏まえた主な都独自の支援
園児保護者負担軽減事業を再編し、国の無償化とあわせて都内平均保育料33万円まで負担が軽減されるよう、都独自に支援